

平成28年8月 東京地区百貨店売上高概況

平成28年9月21日

I. 概況

1. 売上高総額	1,052億円余
2. 前年同月比	-5.9% (2か月ぶりマイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-7.3%(88.1%) : 非店頭5.5%(11.9%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成28年7月対比±0店)
5. 総店舗面積	882,789㎡ (前年同月比:3.0%)
6. 総従業員数	19,006人 (前年同月比:-0.1%)
7. 3か月移動平均値	1-3月 0.5%、2-4月 -0.1%、3-5月 -2.3%、 4-6月 -3.1%、5-7月 -2.2%、6-8月 -2.6%

[参考] 平成27年8月の売上高増減率は6.1%

【特徴】

- (1) 8月の総額は5.9%減で2か月ぶりのマイナス。入店客数も、台風の影響や休日減などを要因に3.7%減で3か月ぶりに前年を下回る結果となった。
- (2) 商品別では、主要5品目(衣料品・身のまわり品・雑貨・家庭用品・食料品)のうち、衣料品(-10.1%)と身のまわり品(-11.0%)が2桁減と数字を落としたほか、雑貨が、美術・宝飾・貴金属の不振を受けて2か月ぶりに前年に届かず。また、入店客数減少の影響を受けた食料品(-2.9%)も伸び悩んだ。なお、家庭用品(+0.0%)は外商の特需もあり健闘。
- (3) 細分類では、厳しさを増す婦人服(-11.0%)に加え、子供服(-14.3%)も2桁減、紳士服も2か月ぶりにマイナスに転じるなど衣料品全般が苦戦。なお、全国同様に化粧品は好調を継続し、3.2%増で17か月連続プラスを確保している。
- (4) 8月は次シーズンのトレンドを提案し検証していく月にありながら、秋冬物の立ち上がりの鈍さが提案力の不十分さを示しており、個別商材の動きは依然として、残暑を背景としたブラウスやパンツなどの夏物需要や、天候与件によるレイングッズ、レインシューズなど、単品商品の必要購買が中心となっている。
- (5) 9月は15日現在で約4%強のマイナスで推移。月中盤に入り入店客数が増加傾向との報告も入っている。

【要因】

- (1) 営業日数増減 30.4日 (前年同月比-0.1日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数19店舗)
①増加した:1店、②変化なし:4店、③減少した:14店
- (3) 8月歳時記(夏休み、お盆)の売上 (同上/有効回答数11店舗)
①増加した:0店、②変化なし:6店、③減少した:5店

東京地区百貨店 売上高速報 2016年08月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	105,293,569	100.0	-5.9
紳士服・洋品	6,692,999	6.4	-6.9
婦人服・洋品	16,351,881	15.5	-11.0
子供服・洋品	1,759,490	1.7	-14.3
その他衣料品	2,231,628	2.1	-8.9
衣 料 品	27,035,998	25.7	-10.1
身のまわり品	15,493,111	14.7	-11.0
化粧品	9,872,775	9.4	3.2
美術・宝飾・貴金属	7,308,778	6.9	-16.8
その他雑貨	5,199,541	4.9	-4.0
雑 貨	22,381,094	21.3	-5.8
家 具	1,828,030	1.7	20.8
家 電	890,205	0.8	36.7
その他家庭用品	3,486,976	3.3	-13.7
家 庭 用 品	6,205,211	5.9	0.0
生 鮮 食 品	4,195,905	4.0	-7.0
菓 子	7,785,581	7.4	-0.9
惣 菜	6,107,528	5.8	-5.6
その他食料品	7,534,771	7.2	-0.2
食 料 品	25,623,785	24.3	-2.9
食 堂 喫 茶	3,233,538	3.1	-8.9
サ ー ビ ス	2,347,813	2.2	29.9
そ の 他	2,973,019	2.8	7.8

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

商 品 券	1,805,216 千円	-3.9
従 業 員 数	19,006 人	-0.1
店 舗 面 積	882,789 m ²	3.0

営 業 日 数	30.4 日	前年	30.5 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、家庭用品が5か月ぶりのプラスとなった。また、衣料品が10か月連続、身のまわり品と雑貨が2か月ぶり、食料品が3か月ぶりのマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が17か月連続、家具、家電が5か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-5.9	-	2か月ぶりマイナス
紳士服・洋品	-6.9	-0.4	2か月ぶりマイナス
婦人服・洋品	-11.0	-1.8	10か月連続マイナス
子供服・洋品	-14.3	-0.3	2か月連続マイナス
その他衣料品	-8.9	-0.2	4か月連続マイナス
衣料品	-10.1	-2.7	10か月連続マイナス
身のまわり品	-11.0	-1.7	2か月ぶりマイナス
化粧品	3.2	0.3	17か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-16.8	-1.3	6か月連続マイナス*
その他雑貨	-4.0	-0.2	2か月ぶりマイナス*
雑貨	-5.8	-1.2	2か月ぶりマイナス
家具	20.8	0.3	5か月ぶりプラス
家電	36.7	0.2	5か月ぶりプラス
その他家庭用品	-13.7	-0.5	4か月連続マイナス
家庭用品	+0.0	0.0	5か月ぶりプラス
生鮮食品	-7.0	-0.3	6か月連続マイナス*
菓子	-0.9	-0.1	3か月ぶりマイナス*
惣菜	-5.6	-0.3	2か月連続マイナス*
その他食料品	-0.2	0.0	2か月連続マイナス*
食料品	-2.9	-0.7	3か月ぶりマイナス
食堂喫茶	-8.9	-0.3	8か月連続マイナス
サービス	29.9	0.5	2か月連続プラス
その他	7.8	0.2	13か月連続プラス
商品券	-3.9	-0.1	18か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・関 まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>